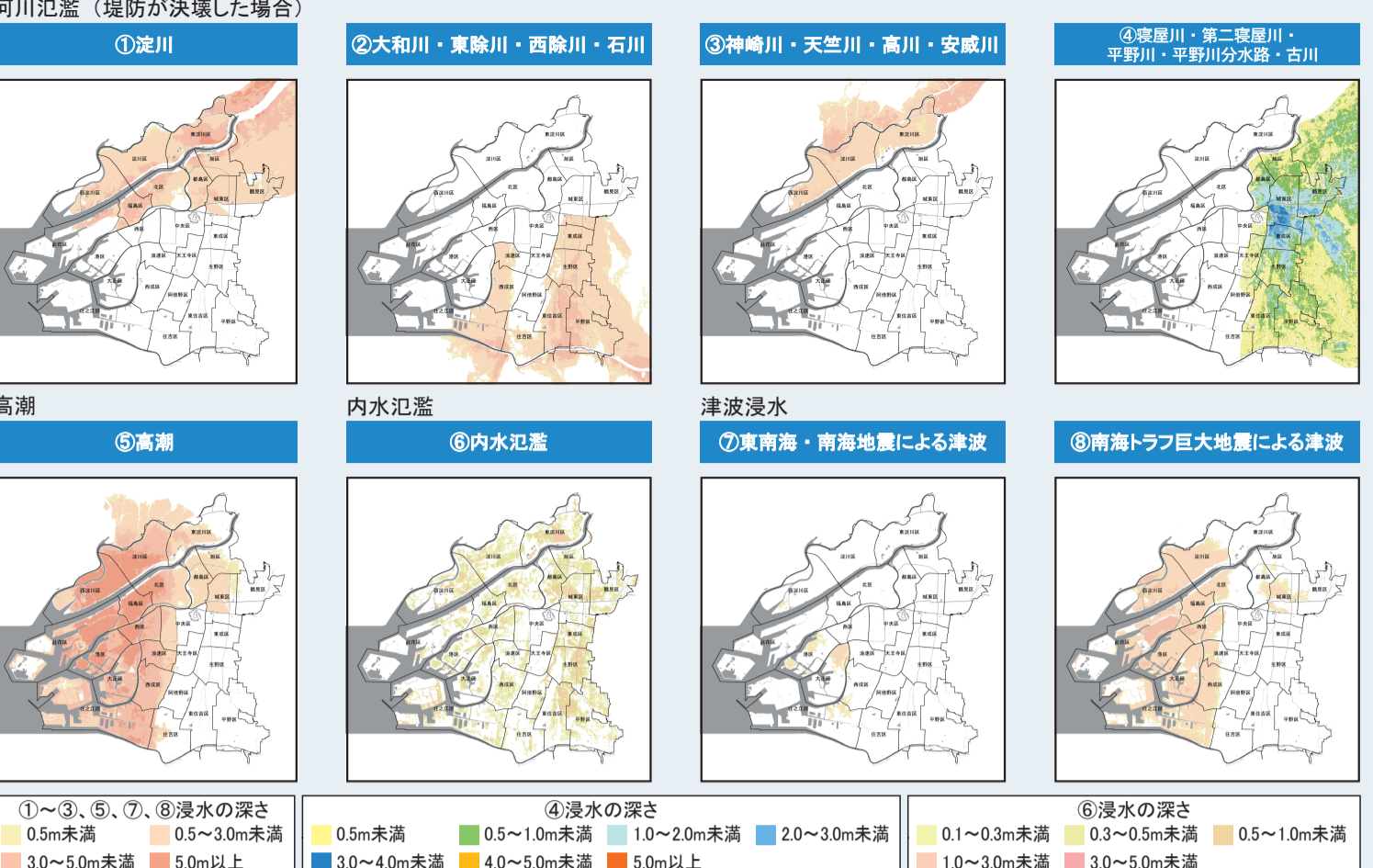


大阪市全域の浸水想定図



①～③、⑤、⑦、⑧ 浸水の深さ 0.5m未満 0.5～3.0m未満 3.0～5.0m未満 5.0m以上	④ 浸水の深さ 0.5m未満 0.5～1.0m未満 1.0～2.0m未満 2.0～3.0m未満 3.0～4.0m未満 4.0～5.0m未満 5.0m以上	⑥ 浸水の深さ 0.1～0.3m未満 0.3～0.5m未満 0.5～1.0m未満 1.0～3.0m未満 3.0～5.0m未満
---	---	---

想定している雨や津波の計算条件

災害種別	浸水想定種別	想定条件	公表年月	問い合わせ先	電話番号	
河川氾濫	① 淀川	24時間総雨量360mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000程度)	平成29年6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861	
	大和川	12時間総雨量316mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000程度)	平成28年8月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381	
	② 東淀川・西淀川	24時間総雨量904.1mm 1時間最大雨量102.5mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	令和元年11月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131	
	石川	24時間総雨量724mm 1時間最大雨量195.5mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	令和3年3月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111	
	③	神崎川	24時間総雨量737mm 1時間最大雨量81.1mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	令和2年1月	大阪府西大板治水事務所	06-6541-7771
	天竺川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量142.6mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111	
	高川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量145.4mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	令和2年1月	大阪府池田土木事務所 大阪府茨木土木事務所	072-752-4111 072-627-1121	
	安成川	24時間総雨量776mm 1時間最大雨量189mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	令和2年3月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121	
	④ 寝屋川・第二寝屋川・平野川 平野川分水路・古川	24時間総雨量683mm 1時間最大雨量138.1mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000以上)	平成31年3月	大阪府寝屋川水系改修工事業	06-6962-7661	
	高潮	⑤ 高潮	中心気圧910hPa(室戸台風級)、最大旋巻半径75km(伊勢湾台風級)、移動速度73km/h、経路は室戸台風を想定	令和2年9月	大阪港湾局危機管理担当	0725-21-7246
内水氾濫	⑥ 内水氾濫	24時間総雨量549mm 1時間最大雨量147mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000程度)	令和3年3月	大阪府建設局下水道部調整課	06-6615-7594	
津波	⑦ 東南海・南海地震津波	マグニチュード9.6程度の地震が発生し、防波堤(夜間、開放されているもの)などが崩壊した場合には津波による浸水が起きた場合(高潮時を想定)	平成16年3月	大阪府港湾計画課	06-6615-7782	
⑧ 南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合(防波堤の沈下や防波施設の閉鎖状況を考慮した高潮時を想定)	平成25年8月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487		

このパンフレットの作成者：大阪府危機管理室（TEL 06-6208-7384）
このパンフレットについては、大阪府危機管理室のホームページでもご覧いただけます。
<https://www.city.osaka.lg.jp/kikanrishtsu/>

令和3年3月

情報伝達について

情報の受け取りかた
市の防災や災害時に必要な情報を、登録した携帯電話やパソコンメールで配信。
事前登録が必要
緊急速報メール
Yahoo! 防災速報アプリ
地域の設定で「大阪市〇〇区」を設定しておく
大阪府域に関する情報が受け取れます。

情報の伝わりかた
避難の情報、水位・河川の情報、地震・津波の情報、気象(雨など)の情報
テレビ・ラジオ等、ホームページ、おおさか防災ネット、緊急速報メール、危険管理室ツイッター、防災スピーカー、広報車等
市民のみならず、高齢者等も避難の準備が完了したことを知らせる。

情報の調べかた
●防災スピーカーの放送が聞き取れなかった場合：防災行政無線テレホンサービス (06-6210-3899) 通話料がかかります。
●災害時には、NHKテレビ放送の画面で、データ放送ボタンの「dボタン」を押すと、避難情報発令状況や避難所開設情報等が視聴できます。

緊急時のサイレンのパターン (防災スピーカー)

緊急事態の種類	サイレン (警報音) パターン	サイレンパターンを視聴できます▼
大津波警報	3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴	大阪府危機管理室 ホームページ
津波警報	5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴	
警戒レベル5	20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴	
警戒レベル4	10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴	
緊急地震速報 (震度5弱以上)	緊急地震速報のチャイム音	

安否確認用の伝言サービス
災害時に伝言の録音や再生ができます。

災害用伝言ダイヤル 171

171に電話する

- 伝言を残すには (録音方法) 1 自宅や自分・家族(被災地内)の電話番号を押す ※市外局番からダイヤルする
- 伝言を聞くには (確認方法) 2 連絡を取りたいかた(被災地内)の電話番号を押す ※市外局番からダイヤルする

体験利用が可能な日
毎月1日、15日、(24時間)
1月1日～3日、(24時間)
防災とボランティア週間
(1月15日午前9時～21日午後5時)
防災週間
(8月30日午前9時～9月5日午後5時)

災害用伝言板 災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。

Web 171 (NTT)
URL <https://www.web171.jp>

ソフトバンク/Y!mobile
URL <http://dengon.softbank.ne.jp>

NIT docomo
URL <http://dengon.docomo.ne.jp>

au (KDDI)
URL <http://dengon.esweb.ne.jp>

J-anpi 安否情報まとめて検索
各社の災害用伝言板等に登録された安否情報をまとめて検索することができます。
URL <https://anpi.jp/>

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をやるのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

1 避難先 避難先を確認してメモしておきましょう。状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則： **逃げ遅れたら・・・** **その場そのときで命を守る場所へ**

- 自宅・親戚宅・知人宅・職場など(最寄りの浸水しない安全な場所)
- 避難先①
- 最寄りの避難所(最寄りの浸水しない安全な場所)
- 避難先②
- 最寄りの水害時(津波)避難ビル(最寄りの浸水しない安全な場所)
- 高い建物や高い場所(最寄りの浸水しない安全な場所)
- 避難先③

2 避難を開始するまでに何をやるかを考えましょう。
いつ避難を開始するかいつ何をやるかを記入しましょう。
▶ ②で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。
▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

家が家の避難計画

大雨が予測されるとき
警戒レベル1 早期注意情報
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報
警戒レベル3 危険な場所かも 高齢者等避難1
警戒レベル4 危険な場所かも 高齢者等避難2
警戒レベル5 緊急安全確保

避難の準備
非常持ち出し品・備蓄品を確認
必要なもの買い出し
家財等の2階等への移動開始
家の周りの点検
飛ばされそうなものの片付け
窓の施錠の確認
携帯電話の充電
避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ
近所への声かけ
避難の声かけをする □一緒に避難する名前
連絡先
避難の声かけをする □一緒に避難する名前
連絡先
家族と連絡を取り合う(離れている場合)
避難の支援者になり連絡(自力では避難が困難な場合)
その他

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。

避難完了後 避難後は、家族や大切な人々に無事避難したことを伝えましょう
連絡方法 家族の集合場所
避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。

大阪市 水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方
1 お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう
大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けやすいか、地震時には津波の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

2 災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう
災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動(避難タイミングと避難先)を確認しましょう。

3 命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう
災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、書き込み式のマイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。

避難先・集合場所
災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

大雨のとき 洪水 連絡先

災害時の連絡先

平野区役所	06-4302-9734	道路(平野工務所)	06-6705-0102
平野区保健福祉センター	06-4302-9882	電気(関西電力全営業所共通)	0800-777-8810
警察署	110	ガス(大阪ガス)	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障(NTT)	113
下水道(平野管路管理センター)	06-6705-0342	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113
水道(お客さまセンター)	06-6458-1132		

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害時の情報(警戒レベル) みなさんの命を守る行動

警戒レベル1 気象庁が発表 早期注意情報
心構えを高める
たとえば・・・
◎気象情報に注意

警戒レベル2 気象庁が発表 洪水注意報、大雨注意報等
避難行動を確認
たとえば・・・
◎ハザードマップで避難経路を再確認
◎周辺の雨の状況に注意

警戒レベル3 市が発令 危険な場所から 高齢者等避難
高齢者等(避難に時間がかかる人)は避難
たとえば・・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない(3階以上を含む)より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ
◎警戒レベル4 全員避難に備えて非常持ち出し品を確認

警戒レベル4 市が発令 危険な場所から 全員避難!!
速やかに避難所へ避難
たとえば・・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない(3階以上を含む)より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ
! 避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ
たとえば・・・
◎最寄りの避難所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ

警戒レベル5 市が可能な範囲で発令 緊急安全確保
命の危険 直ちに安全確保!
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ
! 浸水の中を避難するのはとても危険です。
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

避難はどうする？

浸水が浅い、家屋倒壊の危険性が低いなど
自宅にとどまれる方
無理に外に出ない
風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深い、家屋倒壊の危険性が高いなど
自宅にとどまれない方
早い段階で避難
命の危険 直ちに安全確保!
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ

水害時避難ビルについて
イメージ
大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として水害時避難ビルの確保を進めています。いざというときのために、最寄りの水害時避難ビルを確認しましょう。

水害時避難ビル
Flood Disaster Evacuation Bldg.
水災避難ビル/全河川氾濫等
避難可能時間 [24時間]

記録的な台風が近づいているとき (高潮)

災害時の情報(警戒レベル) みなさんの命を守る行動

警戒レベル3 市が発令 危険な場所から 高齢者等避難
高齢者等(避難に時間がかかる人)は避難
たとえば・・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない(3階以上を含む)より安全な場所へ
◎最寄りの避難場所へ
◎警戒レベル4 全員避難に備えて非常持ち出し品を確認

警戒レベル4 市が発令 危険な場所から 全員避難!!
速やかに避難所へ避難
たとえば・・・
◎親戚宅・知人宅・職場など、浸水しない(3階以上を含む)より安全な場所へ
◎最寄りの避難所へ
! 避難の途中で危険を感じたら、近くの安全な場所へ
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ

警戒レベル5 市が可能な範囲で発令 緊急安全確保
命の危険 直ちに安全確保!
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ
! 浸水の中を避難するのはとても危険です。
たとえば・・・
◎最寄りの避難場所へ
◎最寄りの避難場所(水害時(津波)避難ビルへ)
◎高い建物や高い場所へ

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波が発生したとき
避難はどうする？
できるだけ早く、浸水被害のない場所へ
揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

避難するときの注意点
大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう
津波警報が出ているあいだは避難を続けよう
風が強さでは避難行動に影響します。台風等で猛烈な風が吹いているときには、走行中のトラックが横断したりブロック塀や家々が倒壊を始めるおそれもあります。
浸水よりも高く

津波情報

予想される津波の高さ	警報の名称	みなさんの対応
数値での発表(発表基準)	巨大	大津波警報(特別警報)
10m 超		
10m 5m<高さ≤10m	巨大	●できるだけ早く、高いところへ
5m 3m<高さ≤5m		
3m 1m<高さ≤3m	高い	津波警報
1m 20cm<高さ≤1m	(表記しない)	津波注意報
		●津波情報に注意してください